



# 森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ (28年10月号)

平成28年10月1日

お天気がはっきりしません。とはいえ彼岸も去って朝夕は秋の気配も感じます。さて、今月の共同活動日のご案内です。一緒に土に親しみませんか？

10月23日(日) 午前9時～11時

高知駅前電停脇花壇(「みんなの庭」)の草引きと季節の花植え。出来たら南口駐車場西脇の植栽や北口駐輪場周りの手入れも行います。

午後3時～4時 帯屋町筋中央公園前でチラシ配りと葛岡さんのギターライブ。

11月の月例活動日は20日(日)、12月は11日(日)を予定しています。

## 9月のトピックス

秋のお彼岸明けの25日(日)雨の合間に南口電停脇「みんなの庭」の草取りをしました。彼岸花が満開で、どこからか木犀の香りも。季節を忘れず花を咲かせる草木の命は凄いものですね。(写真)



9月号で、引いた雑草を詰めたゴミ袋6個の写真に掲載しましたところ、読者のお一人から「葉っぱや雑草は土に還して循環させるものでは？」という有難いご意見がありました。まことにごもつともで、これからそうしたいと思います。タネがビッシリもぶりついているのは除いて。

ホームページもご覧ください。↓

<http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

駅前緑化活動は篤志家のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え(花苗提供、勤労奉仕、ご寄付など)をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：[m.nakata@ak.wakwak.com](mailto:m.nakata@ak.wakwak.com)

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：[kumont2@yahoo.co.jp](mailto:kumont2@yahoo.co.jp)

## 「緑のまちづくり」を考える

### (3) なぜそこに人が集まるのか

#### —「緑」と「居心地」の関係

右の二つの写真は街かどの風景です。

右上の写真：高知駅南口に設置された銘石？のベンチ。  
实用というよりはアートです。

右下の写真：樹の下、ありふれた木造りの円いベンチ  
で人が休んでいます。



一方は戦後高度成長時代・工業化時代に流行った、無機質的美をあらわした作例で、もう一方は自然環境の視点を取り入れた風景。上はモダンで、下はレトロです。

専門の先生によると、まちづくりで最も大切な観点の一つは「居心地」だそうです。何をもって居心地が良いとするかという理屈（その人の特性、時代、季節、時間、滞在目的などによります）はさておいて、「人が通り過ぎる場所」（上）・「集まる場所」（下）という違いがなぜ出来てしまうのでしょうか。「緑」の有無が街なかの居心地に深く関わっているような気がいたしませんか？



なぜ脳が「緑」を心地よいと感じるのかという問いに対する答えの一つは、DNA（遺伝子）かもしれません。縄文人は木の実（森）、弥生人は稲（水田）、後世は農業といった具合に、過去1万年以上の間ずっと「緑」に守られて人々は生きてきました。心を落ち着かせ、安心させてくれる「緑」は、民族の「原風景」なのです。

（「原風景」については、マンスリーレター平成27年4月号に詳しく書きました。）



（岩手御所野縄文遺跡と森）